

実績 ～企業・自治体のトップへの提言、研究成果を書籍として出版



サービス・エンターテインメント班の3年間のディズニー研究の論文を株式会社オリエンタルランド代表取締役社長(兼)COOの上西一郎様に贈呈し、感謝状をいただく。(2012年4月16日)



復興構想コンテスト～震災復興から日本創生へにおいて、地域班が優秀作を受賞。(2012年4月20日)



多摩学班が加山俊夫相模原市長を訪問し、相模原の将来構想についての意見交換。(2014年12月10日)



アジアダイナミズム班

『モンゴル帝国とユーラシア史
社会人・大学院生・学生の目線からの
グローバルヒストリー』
多摩大学出版会
(2023年4月刊行)



多摩学班

『多摩学への試み 多摩地域研究』
多摩大学出版会
(2024年4月刊行)



『多摩大学インターゼミ
(社会工学研究会) 17年の軌跡』
多摩大学出版会
(2026年3月刊行)



インターゼミ最終論文集
研究成果は、最終論文集として
毎年製本・保存しています。

フィールドワーク・研究調査 ご協力機関

多摩大学インターゼミ(社会工学研究会)では、文献研究と社会のリアルな課題を結びつけるため、数多くの企業・自治体・研究機関の皆様にご協力いただき、現場での学びの場をご提供いただきました。ここでは直近の活動を中心にご紹介しておりますが、開講以来ご理解とご協力を賜りましたすべての皆様へ、深く感謝申し上げます。

■ アジアダイナミズム班
天理大学附属天理参考館 / ナードム祭(モンゴル) / 東京国立博物館 / 駐日モンゴル大使館 / 元寇資料館 / 宮崎宮 / 福岡市博物館 / 九州大学伊都キャンパス / 九州国立博物館

■ サービス・エンターテインメント班
名桜大学 / 今帰仁城跡 / 嘉陽共同売店 / ジャングリア / 株式会社ジャパンエンターテインメント / 株式会社刀 / 琉銀総研 / 琉球新報社 / ひめゆりの塔 / 沖縄県平和祈念資料館 / 北海道千歳市 / 東京八王子ビートルズ / 筑波大学 仲澤真准教授 / ROADREST八王子

■ 多摩学班
インタビュー調査(舛友雄大氏・多摩市在住ナパール人・トウキョウ ミタイフラ 国道16号線周辺の外国人住民) / 芝園団地自治会 / 江戸川インド人会 / 川崎市(経済労働局・臨海部国際戦略本部) / 株式会社愛知銀行 / 首都圏産業活性化協会(TAMA協会) / 第一勧業信用組合 / 相模原市 / 経済産業省関東経済産業局 / 埼玉県 / 日本理化学工業株式会社 / 株式会社アルファメディア / 産業能率大学 / 株式会社さがみはら産業創造センター / オリオン機械工業株式会社 / 東京都統計局 / 東急株式会社

■ DX班
株式会社サンシャインシティ / 二宮町 / Tiny Better株式会社 / 世界遺産百舌鳥古墳群

■ 地域班
Fujisawa SST / 横浜市経済局新産業創造課 / 川崎ビジネスワールド2019 オープンイノベーションマッチングフォーラム / 墨田区商店街連合会 / 新高円寺通商店街振興組合 / 栗鴨地蔵通り商店街 / シンガポール ホーカース / 永山商店街 / 飯能市エコツアー / 奥武蔵観光協会

■ 環境・エネルギー班
東京都墨田区本所防災館 / 熊本県(阿蘇・熊本城ほか) / 唐木田ゴミ焼却施設(東京都多摩市) / 東京工業大学(外部セミナー)

九段サテライト周辺に広がる学びのフィールド



九段サテライト

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-9-17 寺島文庫ビル3階

- 地下鉄東西線・半蔵門線・都営新線「九段下駅」(5番出口) 徒歩3分
- 地下鉄半蔵門線・都営新線・三田線「神保町駅」(A2出口) 徒歩7分

E-mail: koho@gr.tama.ac.jp

多様な研究テーマに取り組むインターゼミにとって、学びの場となる環境は重要な要素のひとつです。

九段サテライト周辺には、歴史・文化・社会に関わる多様な知的資源が集積しており、研究の背景理解や問題意識を深める上で大きな役割を果たしています。

史跡や文化施設、神田神保町の古書店街などに日常的に触れることで、文献研究と現地での体験が結びつき、議論やフィールドワークの着想が生まれます。

こうした環境が、分野横断的で実践的な研究を支え、これまでの多様な研究実績につながっています。

■ 多摩キャンパス
(経営情報学部)
〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1
TEL: 042-337-1111(代表)

■ 湘南キャンパス
(グローバルスタディーズ学部)
〒252-0805 神奈川県藤沢市円行802
TEL: 0466-82-4141(代表)

■ 品川サテライト
(大学院経営情報学研究科)
〒108-0075 東京都港区港南2-14-14
品川インターシティフロント5階
TEL: 03-5769-4170(代表)

インターゼミ(社会工学研究会)

https://www.tama.ac.jp/guide/inter_seminar.html



研究活動の経過や取り組み、論文や発表の内容などの詳細は、
上のQRコードからWebページでご覧いただけます。



多摩大学 インターゼミ (社会工学研究会)

寺島実郎学長直轄ゼミナール

Tama University Inter Seminar

インターゼミ(社会工学研究会)～文献研究とフィールドワーク

インターゼミ(社会工学研究会)は、毎週土曜日(16:20～17:50)、九段下寺島文庫3階の多摩大学九段サテライトで開講している寺島実郎学長の直轄ゼミナールです。

経営情報学部・グローバルスタディーズ学部の2学部と社会人大学院生および卒業生、修了生を含めた約40人を5つのチームに分けて、それぞれに年間課題として研究テーマを与え、文献研究とフィールドワークでチームとして課題に対する論文を書き上げます。1つのチームに、両学部・大学院の教授が2名以上配置され、世代を超えた共同研究となっています。

インターゼミが、なぜ都心の九段サテライトで開講されているか。それは九段周辺にある様々な史跡と神田神保町の古本屋街の存在です。ゼミの前後に史跡を巡り、神田古本屋街に足を向け、本を発見し、手に取り、考え、自分の頭を鍛えるという経験を積み上げます。

本気で大学・大学院生活の間に、1つのテーマにぶつかって、勉強し自らを錬磨しようという人が、2つの学部と大学院の交流を通じたスパークのあるゼミに参画しています。



毎週行われる世界と日本の情勢を踏まえた寺島学長講話

ゼミ概要～学長講話・グループワーク



寺島学長によるチーム別の論文指導

春学期(4月～7月)、秋学期(9月～1月)の毎週土曜日の5時限目(16:20～17:50)、多摩大学九段サテライト(東京都千代田区九段北1-9-17寺島文庫ビル3階)にて開講。8月に、箱根にて1泊2日の夏季合宿をおこなう。

毎回の講話は、前半寺島実郎学長による、その週の世界と日本の出来事等の講話と教授陣のミニ講話。後半は、チームごとのグループワーク。

年3回(6月:研究計画発表、8月(合宿):中間発表、12月:最終発表)、学長、両学部・大学院の教授陣およびゼミ生に向けての発表をおこなう。



これまでの研究テーマ

アジアダイナミズム 班

2009年度:
アジアとの交流プログラム～多摩大学の留学生獲得戦略研究～
(担当教授:金美徳・木村知義)

2010年度:
①歴史・文化～東アジアの未来像の構築に向けて～
②アジア経済～ヒト・モノ・カネと産業～
(担当教授①②:金美徳・木村知義)

2011年度:
孫文、伊藤博文、安重根
～日中韓の3人の歴史的人物から学んだこと～
(担当教授:金美徳・菅野光公)

2012年度:
日中韓の領土問題～尖閣諸島と竹島～
(担当教授:金美徳・巴特尔)

2013年度:
日本とユーラシアの交流～飛鳥寺を手掛かりに～
(担当教授:金美徳・巴特尔・小林英夫)

2014年度:
江戸期の日中韓交流
～朝鮮通信使の外交・文化的意味と現代的意義～
(担当教授:金美徳・巴特尔・小林英夫)

2015年度:
琉球国と東アジア交流
～琉球史から探る沖縄の自立自尊と経済的自立～
(担当教授:金美徳・巴特尔・中澤弥)

2016年度:
長崎が拓いたアジアとヨーロッパの交流
(担当教授:金美徳・大場智美)

2017年度:
モンゴル帝国のユーラシア興隆史
(担当教授:金美徳・水盛涼一)

2018年度:
モンゴル帝国の興隆と衰退
(担当教授:金美徳・水盛涼一・加藤みずき)

2019年度:
モンゴル帝国と朝鮮半島
(担当教授:金美徳・水盛涼一・小林昭菜)

2020年度:
パンデミックのユーラシア史とポストコロナ
～モンゴル帝国史を起点としたペスト(黒死病)の欧州と日本の中近世史～
(担当教授:金美徳・水盛涼一)

2021年度:
倭寇とモンゴル帝国史～海洋の渡海民と大陸の遊牧民～
(担当教授:金美徳・水盛涼一)

2022年度:
華人華僑とモンゴル帝国史
(担当教授:金美徳・水盛涼一)

2023年度:
モンゴル帝国の衰退から見る宗教と統治
～ロシアと中国の視点から～
(担当教授:金美徳・水盛涼一)

2024年度:
モンゴル帝国の遺産～アムール・ムガル帝国～
(担当教授:金美徳・平石隆司)

2025年度:
「ボックス・モンゴリカ」時代の文化交流史
～文化交流学の視点から～
(担当教授:金美徳・越田辰宏)

サービス・エンターテインメント 班

2009年度:
ディズニーの研究
(担当教授:渡邊泰典)

2010年度:
①ディズニー:ディズニーキャラクタービジネスの成功要因に関する考察～ビジネスのからくりと消費者心理の両視点から～
②観光:マンガ・アニメ・ツーリズム
～マンガ・アニメは日本のヒーローになれるのか～
(担当教授①②:酒井麻衣子・中澤弥)

2011年度:
ディズニーにおける人材育成について
(担当教授:酒井麻衣子・中澤弥)

2012年度:
ディズニー海外展開戦略に関する考察
～各国文化に適應するローカライズとは～
(担当教授:酒井麻衣子・中澤弥)

2013年度:
顧客・従業員満足度に関する考察
～多摩大生が企業を選ぶ際に重要視すること～
(担当教授:安田震一・菅野光公)

2014年度:
日本を元気にするIR
和風IR～対アジア・関西圏統合型リゾート構想～
(担当教授:安田震一・市岡浩子・久保田貴文)

2015年度:
訪日リピーターに日本の魅力を発信し日本通を育てるためのSNSの活用～日本食文化と沖縄観光を例として～
(担当教授:久保田貴文・田中孝枝・安田震一)

2016年度:
湘南藤沢の再武装～観光振興による地域の課題解決～
(担当教授:田中孝枝・巴特尔・安田震一)

2017年度:
ショッピングモールから見る消費文化
(担当教授:巴特尔・韓準祐・安田震一・杉田文章)

2018年度:
日本の消費の現状と今後の展望～多摩地域の過去・現在・未来～
(担当教授:巴特尔・大場智美・杉田文章・安田震一)

2019年度:
大都市郊外型高齢社会のコミュニティ形成への挑戦
～高齢者の社会参画を促進する
地域づくりプラットフォームの構築を中心に～
(担当教授:巴特尔・李尚・杉田文章・安田震一)

2020年度:
2020年代の日本の「観光立国」を考える
～「安定」かつ「高付加価値」産業の構築を目指して～
(担当教授:巴特尔・李尚・新美潤・杉田文章・安田震一)

2021年度:
コンビニエンスストアの新たな経済・社会的役割
～暮らしの一部から必要不可欠な存在へ～
(担当教授:巴特尔・李尚・荻野博司)

2022年度:
「Z世代」からみたZ世代研究
(担当教授:巴特尔・桐谷多恵子・菅沼睦)

2023年度:
「広島観光」の可能性
ー原爆・戦争・平和を学ぶ旅をどう組み立てるのか
(担当教授:巴特尔・桐谷多恵子・今村康子)

2024年度:
Z世代によるタイバ重視Z世代に向けた旅のすすめ
～短期間旅の学びと意識変化の検証～
(担当教授:巴特尔・大竹英理子・今村康子)

2025年度:
多角的に捉えた地域活性化～沖縄の過去・現在・未来～
(担当教授:巴特尔・大竹英理子・宮本純至)

多摩学 班

2009年度:
多摩ニュータウンの活性化に関する研究
(担当教授:酒井麻衣子・松本祐一)

2010年度:
TAMA魂 多摩学
(担当教授:中庭光彦・松本祐一・菅野光公・長田貴仁・酒井麻衣子・諸橋正幸・久恒啓一)

2011年度:
中里介山・白洲次郎にみる成り上がり新中間層と多摩地域の関係
(担当教授:中庭光彦・松本祐一・諸橋正幸)

2012年度:
浦賀を中心に見た 江戸幕府の対外貿易と海防
(担当教授:中庭光彦・諸橋正幸)

2013年度:
三多摩士はなぜ生まれたのか～自由民権運動にみる多摩のDNA～
(担当教授:中庭光彦・奥山雅之・木村知義)

2014年度:
2040年多摩の展望～50年に一度の交通革命をこえて～
(担当教授:奥山雅之・荻野博司)

2015年度:
多摩ニュータウン2.0
～ニュータウン再生に向けた多摩版CCRCの可能性と提案～
(担当教授:奥山雅之・栢原伸也・荻野博司)

2016年度:
多摩ニュータウン再生に向けた新たな活性化策の研究
～シニアと学生との緩やかなネットワークの形成を中心に～
(担当教授:奥山雅之・木村知義)

2017年度:
若者にとって魅力ある多摩地域の創生～若者呼び込みに向けた提案～
(担当教授:丹下英明・野坂美穂・荻野博司)

DX(デジタル・トランスフォーメーション) 班 ※2017～2019年度はAI班

2017年度:
高齢者の明日へ～AIを活かし共生の道をひらく～
(担当教授:久保田貴文・大場智美・木村知義)

2018年度:
くらしを助けるAIとしごとを取って代わるAI
(担当教授:久保田貴文・渡邊泰典・久恒啓一)

2019年度:
AI活用の現在
(担当教授:久保田貴文・木村太一・高橋恭寛・渡邊泰典)

2020年度:
DXによるこれからの社会変化～イノベーションを軸に～
(担当教授:佐藤文平・崎濱栄治)

2021年度:
自動運転とスマートシティ
(担当教授:崎濱栄治・樋笠堯士・太田哲)

地域 班

2009年度:
東鳴子温泉活性化に向けて都会の若者からの提言
(担当教授:久恒啓一)

2011年度:
東北グローバル・イノベーション
水産業の将来像から見た、被災地に財・サービスが集まる仕組みの提案
(担当教授:久恒啓一・長田貴仁・木村知義)

2012年度:
東北を活性化する コミュニティ形成～福島県平田村を事例にして～
(担当教授:久恒啓一・長田貴仁)

2013年度:
湯河原の地域活性化～介護者うつ予防の提案～
(担当教授:諸橋正幸・中澤弥)

2014年度:
震災3年後から見る水産都市の地域創生
～コネクタールハブとソーシャルイノベーターの重要性の観点から～
(担当教授:出原至道・木村知義・中澤弥・中庭光彦・諸橋正幸)

環境・エネルギー 班

2009年度:
グリーン・ニューディール
(担当教授:菅野光公・長田貴仁)

2012年度:
地域特性を生かしたエネルギー自立化モデルの可能性
原子力依存から、参画型再生可能エネルギーへのシフト
(担当教授:菅野光公・木村知義)

2018年度:
ジェロントロジーから見た多摩への提言
～人生100年時代を幸せに過ごす社会システムの要件とは～
(担当教授:丹下英明・初見康行・荻野博司)

2019年度:
多摩地域の産業から未来を描く～住み続けたい街の実現に向けて～
(担当教授:長島剛・佐藤文平・荻野博司)

2020年度:
次世代に届けたい多摩地域の在り方
～30年後の次世代が住み続けたい多摩地域になるために～
(担当教授:長島剛・山田大介・荻野博司)

2021年度:
「多摩地域」における住みやすきに関する研究
～地域のネットワークの視点から～
(担当教授:長島剛・落合孝彦・内藤旭恵)

2022年度:
多摩圏の防災対策について～現状と今後の展望～
(担当教授:落合孝彦・新西誠人・荻野博司)

2023年度:
多摩地域の水害の特徴と求められる情報発信
～多摩大学の防災拠点化に向けた提案～
(担当教授:新西誠人・田中友理・荻野博司)

2024年度:
「団地」から発信する外国人との共生
(担当教授:水盛涼一・杵淵洋美・荻野博司)

2025年度:
潤多摩～外国人は多摩地域に来た？～
(担当教授:水盛涼一・高橋彰・荻野博司)

2022年度:
教育におけるDX
(担当教授:樋笠堯士・千ヶ崎清孝・山田知代)

2023年度:
生成AIによる社会への影響～文章生成AI:ChatGPTによる実践～
(担当教授:菅沼睦・千ヶ崎清孝・山田知代)

2024年度:
乱反射する鏡としてのAI～爆発的に進化するAIが問う社会の未来～
(担当教授:越田辰宏・新井崇弘・望月明彦)

2025年度:
生成AIとDXによる社会的弱者支援の可能性
孤立と情報断絶を乗り越えるテクノロジーの役割と恩恵
(担当教授:久保田貴文・平石隆司・ジェスロケニー)